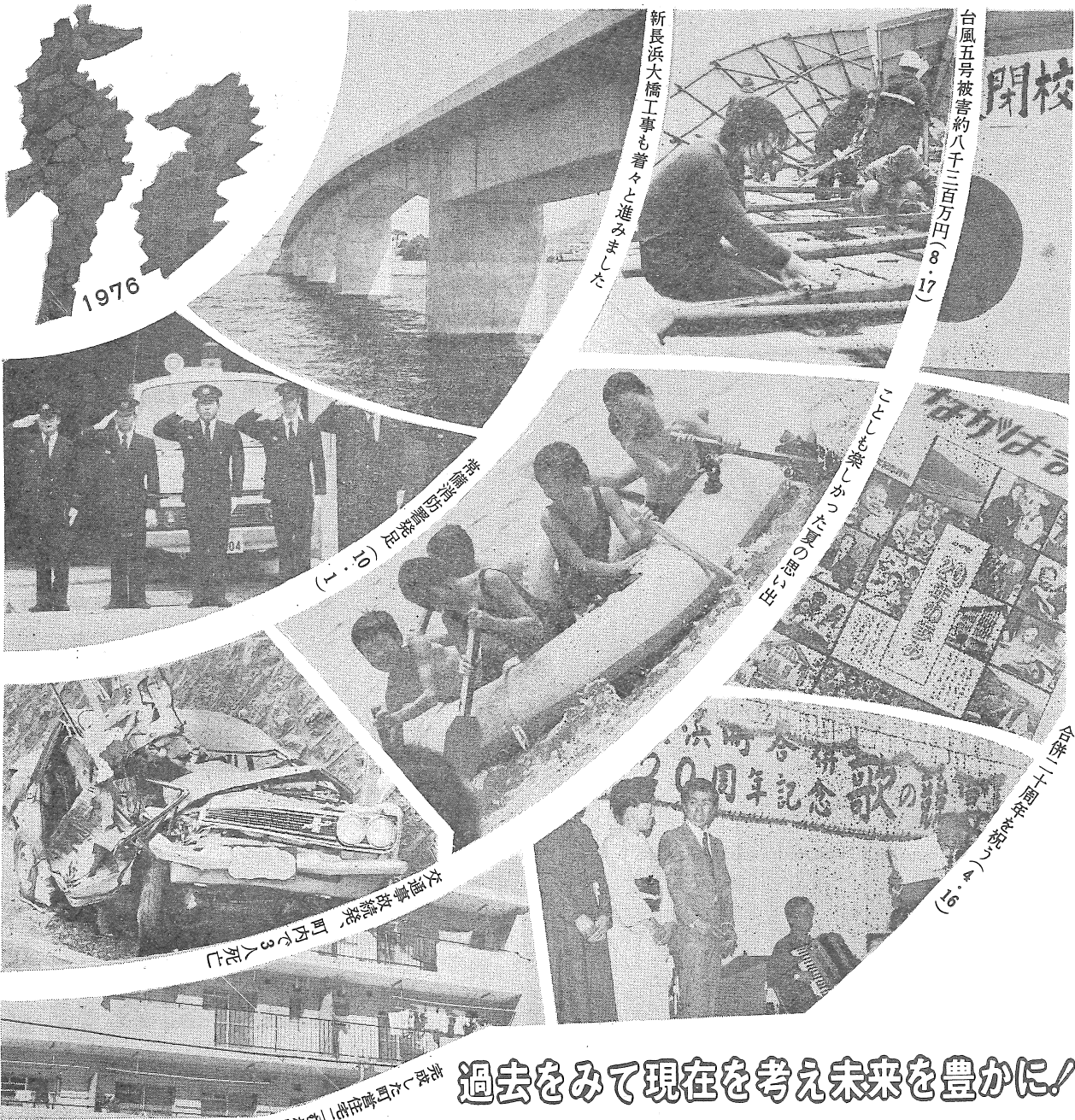


広報 ながはま 12月号



1976

(1・5) 和歌山県立大学

和歌山県立大学 和歌山県立大学

新長浜大橋工事も着々と進みました

台風五号被害約八千三百万円(8・17)

青島小学校を閉校(3・31)。長小の分校に

和歌山県立大学 和歌山県立大学

(5・4) 和歌山県立大学

過去をみて現在を考え未来を豊かに!

(20) 和歌山県立大学

2人にちは

私たちの暮しは物質的には大変豊かになりました。戦時中、物資不足時代を体験したものは夢のようなことです。今はその反面交通災害や環境汚染、暖かい人間性のうすれなど、豊かな生活

を妨げる要因も多くなりました。また、昨今は資源の問題も深刻となり経

済優先から心と物のバランスを考える新しい時代と変わりました。豊かな生活を築くためには、私たちの身近かな問題を一つ一つ解決して行かねばなりません。コミュニティ活動の拠点となる公民館、集会所の施設整備が各地域に行き届き、読書活動、研修活動、年中行事、環境整備活動、体育活動に活用されていることは喜ばしいことです。八幡浜県事務所管内懇談会に出席して感じたことは、他地区よりいろいろな面を中心とした社会教育、生活改善運動コミュニ

明るい地域づくりの輪を広げよう



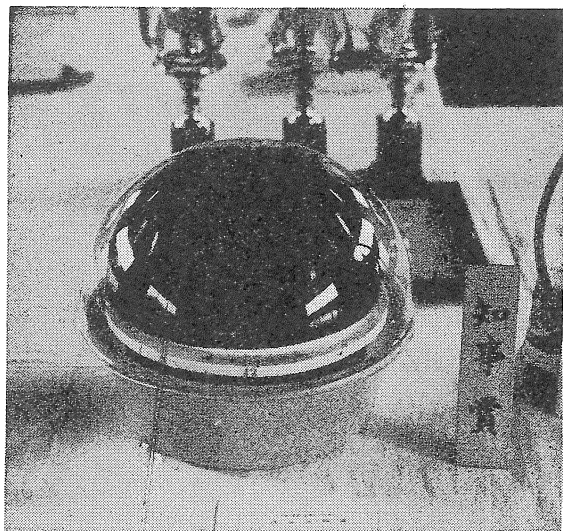
堀 江 米 子
(57歳)
沖浦・無職

ニティー活動が活発に行われていることを誇らしく思います。物価高や物不足によって生活のあり方が問い直されているときだけに人と人との結びつきや、地域社会の連帯感が再認識されてきました。地域の美化清掃活動や町民の融和と健康づくりのため開かれた男女バレーボール大会、男子ソフトボール

大会など家族そろっての応援、また、各部落から郷土芸能をもちより長中学校庭で開かれた芸能祭等々、金と物にふりまわされ、とげとげしくなりつつある世の中に、すたれつつある郷土芸能や、昔から伝わる風俗、風習、文化活動など良いものは、いつまでも残し伝え、人情豊かな町づくりに役立てたいもの

です。三世代の集いの会合であるご老人が一家円満の元は、「いたわり合う心と感謝することである」と言われましたが、物に對し、人に對し、まったくその言葉につきると思いました。親子近隣の心があれば断絶も疎外感もなく、また、物資も大切に、明るい家庭づくり、地域づくりができると思いました。石油ショック以来物を大切に使うことが叫ばれ始めましたが、資源のない我が国では当然なことですが、物の心を知った節約運動として、ふるしき運動や、消費節約交換会など、賢明な消費活動が広がっています。今後もお地域に住む人々が、自らの手でより良い地域にしようという意欲をもちたてることが、課題と

(コミュニティ・リポーター)



これが「太陽の動き自動記録装置」

…県児童生徒発明くふう展で知事賞…



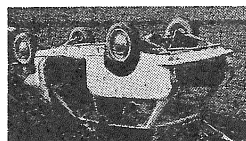
喜びの(左から)蒲生、川田、新江の3君

すでにテレビや新聞でご承知と思いますが、ことしの愛媛県児童生徒発明くふう展(県、県教委、発明協会県支部主催)に出品した長浜小学校六年、蒲生達佳、川田宏、新江明の三君の作った「太陽の動き自動記録装置(写真)」がみごと最高賞「知事賞」に入賞しました。小、中合わせて二十九校百二十九点の中での知事賞一点が校にありというところ。

理科専科担任・味村真祐先生の指導のもと三君の作った「太陽の動き自動記録装置」は太陽の高度変化を自動的に記録できるようにした作品。同校ではこれまで五、六年生の理科の観察活動で毎日一時間ごとの太陽の動きを測っていました。が、授業中などうっかり忘れていたりすることがあり、なかなかきちんと測るのがむづかしいことから、なんとかできないものかとみんなで相談、これまでで学習してきたことを応用して作った、ということです。実物を見ないといくわからないかも知れませんが、台に磁石を取りつけて南北に固定し、どんな場所でも台が水平になるように水に浮している点と、太陽の光線が一つの穴だけから入るようになっているのがくふうの見せどころのよう。

役場に届出必要

交通事故・傷害で
国保を使う場合



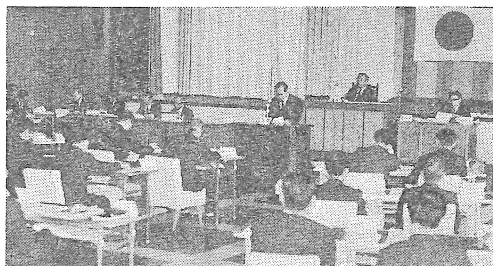
国民健康保険の加入者が交通事故にあってあるいは暴行などで傷害を受けた際に国民健康保険を使って治療を受ける場合は、必ず役場の国民健康保険係にその旨をすみやかに連絡し、さらに「第三者行為による傷病届(役場に届用紙あり)」を提出しなければならぬということ、ご存知ですか。

なぜ、このような手続きが必要かというと、交通事故や傷害事件の場合の医療費は加害者が支払うのがたてまえのものであるにもかかわらず、通常はひとまずは被害者の保険で治療されます。したがって、被害者が国民健康保険加入者の場合ですと加害者が負担しなければならぬ医療費を国民健康保険が一時的に代わって支払うことになるわけですから、国民健康保険は、あとでその医療費を被害者に代って加害者に請求しなければならぬからです。

ですから、次のような場合もご注意ください。

※相手方と示談の話し合いを進める場合も、まずは役場の国民健康保険係にその旨を届け出、それより前には絶対に示談を結ばないよう気をつけてください。

また、示談を結ぶ場合は、示談条件の中に、国保医療費は全額加害者負担という条項をはっきり示しておくようにしましょう。



議会

第3回定例会

長浜町議会第三回定例会は、十月十七日、長浜町体育館で開かれ一般会計補正予算など上程された十五の議案が原案通り可決されました。

また、今議会では一般質問が行われたほか、議長、副議長の改選が行われるとともに常任委員ほか各委員の構成が改められました。可決されたこと、一般質問のうち、おもなものの内容は次の通り。

議長に山下、副は宮本氏

今議会では池田登氏から議長辞任願、矢野一夫氏から副議長辞任願の申し出があったため、同会ではこれを追加議案として取り上げ審議、許可することを可決しました。

た、議員歴八年七か月の宮本教美氏（六〇）が十七票（棄権三）のうち十四票を獲得して副議長に選ばれました。

また、常任委員など各委員の構成替えも行われ、左表の通り決まりました。

これにともない、ただちに新しい議長、副議長を選ぶ選挙が行われた結果、議員歴十二年七か月の山下清雄氏（六二）が二十票のうち十三票を獲得して議長に、ま



山下議長



宮本副議長

町道改良費など 四千九百万円補正一般会計

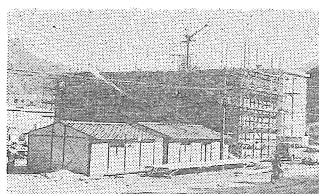
今年度一般会計予算に専決処分による補正分も含めて四千九百万四千円が補正されました。

常任委員会			総務
産業建設	文教厚生		
◎山本 一男	◎西宮 正幸	◎城戸岡政雄	◎平井豊秋
◎矢野 一男	◎塚本 弘基	一宮泰忠	大成淳
◎二宮義徳	◎新盛己 堤	◎頼永一夫	村本武則
◎桜田和夫	◎宮本教美	◎山下清雄	菊地満男
	◎池田 登	◎大本春明	

◎は委員長 ○は副委員長

た。おもな使用みちは次の通り。

穂積の大久保橋、町道坂線、町道出石郷の峠線改良工事請負費千二百二十二万円。大洲流域消防事務組合長浜支署改築費五百五十万円。喜多灘漁港防波堤嵩上げ工事請負費六十万円。下村、沖浦地区治山事業費百四十五万九千九百円。衛生河原地区下水改良費百四十四万円。過年度公共土木施設災害復旧費の増額分百四十四万六千円。今坊農道一号および二号線の過年度分災害復旧費五十九万六千円。町誌印刷製本費四十三万円。長中創立十周年事業費（報償費）二十万円。町民の広場補修費十万円。県営工事負担金千八百一十万円。大洲喜多衛生事務組合負担金不足分二百一十一万円。



建設が進められている公営住宅（小浦）

万四千円。出海農道および農道舗装負担金百七十一万四千円。ほか魚礁設置費二百三十九万円など減額補正。

過疎地域振興計画の一部を変更

長浜町の過疎地域振興五か年計画の一部が変更され、次の三つの新規事業が加えられました。

- ① 出海の町道尾坂線改良事業（延長四百三十m・幅員二・五m）
- ② 須沢込の奥線改良事業（延長五百m・幅員四m）
- ③ 公営住宅新築事業（中高層鉄筋コンクリート四階建て十六戸・小浦団地）

住宅、漁港などの請負契約の締結を承認

昭和五十年年度に行う工事の請負契約を次の通り締結することが承認されました。

▽小浦団地への公営住宅十六戸（中高層鉄筋コンクリート建）の建設工事を六千六百五十

□ 一般質問 □

今議会の一般質問では、塚本弘基氏が次の二件の質問を行いました。ほか、新盛己氏が質問を行いました。

環境汚染防止 どのように

塚本議員：松喰虫の侵食、海岸地先の海藻の減少は大気や水質汚染の影響によるものと思われる。各地方自治体や県・国と密接に連絡して、この問題を究明し積極的

に取組む考えはないか。

菊地町長：広域的な視野に立つて国や県、他町村とも連絡を密に

教員配置に対する 町教委の姿勢は

塚本議員：出海中学校の教員数は四月の異動で、六人となり、このままでは生徒の勉強にも支障が出てくる。町当局はこの事実をどのように受け取めているか。

菊地町長：教育委員会のような特別機関へ政治が介入することは

万円。長浜の株式会社門田組と▽町道須沢込の奥線改良工事を千五百万円。須沢の有限会社高屋建設と▽喜多灘漁港改修工事を二千八十六万円。長浜の有限会社長浜建設と▽沖浦漁港改修工事を千三百八十万円。大洲市の株式会社西田興産と。

長浜港湾一部埋立て 異議のない旨を答申

昭和五十年十月三日付で、愛媛県知事から長浜港湾整備五か年計画にともない大字黒田字築地甲六一七〇一一番地地先に位置する長浜港湾内の公有水面の一部を船揚場に築造するため埋立てることについて町長の意見が求められたため、町長は「長浜港の公有水面埋立計画は適正なものであり、異議はありません」と答申することではかった結果、承認されました。

監査委員に桜田氏

議会から選出された監査委員であった二宮義徳氏が、ことし十月十七日付で同委員を退職。後任委員に桜田和夫氏が決まりました。

許されないと考えている。しかし、将来の長浜、日本を背負って立つ大切な子どもたちの教育の場だから慎重に対応していきたい。

菊地教育委員長：教員の人事については教育長を中心に努力しており、他市町村人事に比較してヒケはとらないと確信している。出

海中学校については町長と同じ考えをもっている。

小泉教育長：（出海中の教員二人減を具体的に説明したあと）長浜町全町の教育のために全力を傾注し、人事行政についても最善を尽しているつもりである。出海中学校の教育についても子どもたちのために今後とも努力を傾むけていきたい。

長浜町長 菊地嘉彦

数えきれないほどの細い枝に分かれて各家庭に入り、それこそとば通り命の泉となり続けてきたのであります。まことにありがたいことであつたと感謝をせずにはいられません。



合併後の区区域は大きな広がりを持ちました。水道もまた、その全戸給水を目ざして年々休むことなくその拡張をはかっております。世の中がいかに変わろうとも、清らかな水を絶え間なく送り続けることこそ水道本来の使命であると同時に、政治行政の面目もまた、かくのごとくなければならぬと、五十周年を迎えてつくづく考えるしだいであります。



も、清らかな水を絶え間なく送り続けることこそ水道本来の使命であると同時に、政治行政の面目もまた、かくのごとくなければならぬと、五十周年を迎えてつくづく考えるしだいであります。

じゃ口をひねればほとばしり出る水。このような水道施設が私たちの町に初めてでき、給水を開始したのは大正十五年十一月一日でした。当時は旧長浜町だけが対象とされ敷設されたのですが、以来五十年が過ぎました。考えようによっては長い年月かも知れませんが、今日では山間地域にも簡易水道、飲料水供給施設という名称で町設置の水道施設が整い、五十周年の年であることしの四月一日現在の町設置の施設による給水人口は一万一千三百九十六人で八二・一九％の普及率となり、残る一七・八一％がいわゆる私的水道施設あるいは井戸、谷川水の汲み取りなどでまかなっている現状です。その一七・八一％に該当するところは今坊の案今坊、松の久保、橋立の一部、無事喜地、黒田の大成、衛生、下須成の下の一部、穂積の一部、穂積の

大久保。大越。豊茂の
刈屋、夫上、明東地、
別府、奥、谷上の一部、
梅、名ノ城、柴大越、
日の浦の一部、中の一
部。戒川の太平、叶
松、榎谷、石堂、一ノ
瀬、豆柳。青島。一以
上の地区の合わせて六
百四十三世帯二千四百
四十九人とその他二十
九人の計二千四百六十
人。これらの地域につ
いてはとくに水質管理
に問題があることにな
りますが、将来にわた
って改善が進められる
ことになるでしょう。

浄水 滅菌

取水

ポンプ送水

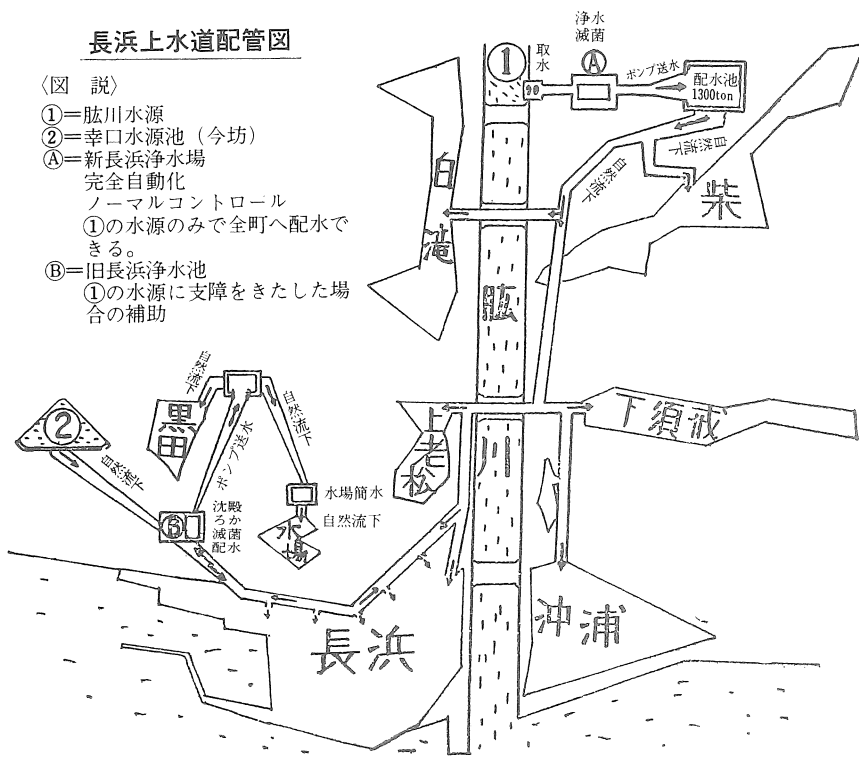
配水

上門下須戒

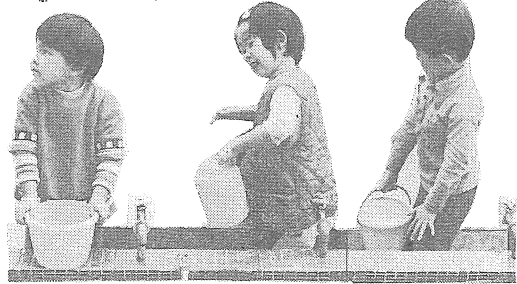
長浜上水道配管図

〈圖說〉

- ①＝舩川水源
②＝幸口水源池（今坊）
③＝新長浜浄水場
完全自動化
ノーマルコントロール
①の水源のみで全町へ配水で
きる。
④＝旧長浜浄水池
①の水源に支障をきたした場
合の補助



たいせつに



五銭、一日だと二十三万三千三百三十三円六十銭。これを年間に換算すると使用水量は百五十三万五千九百二十リットル（ドラムカン七百六十七万九千六百本分）もの量になり、給水費用原価は八千五百六十円、給水費用原価は八千五百六十円、六千七百六十四円。こんな小さい町でもこんなに膨大な水と経費を使っているわけですか。しかも、それは主なる水源としている熊川川の流量は一日二百九十九万四千六百リットルということですから、今の

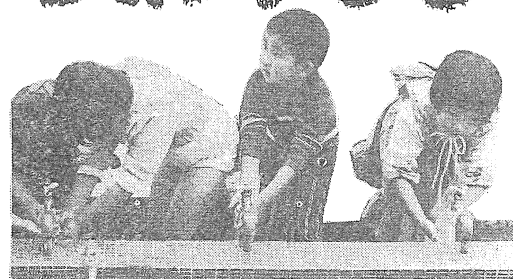
時点では十二分に余力はある見通しですが、しかし、わずかでも範圍を広げようものならすぐそばで南予水資源開発の問題が大きく横たわっていたり、夏季ともなれば至るところで水不足が訴えられてゐるのが現状です。

その昔「水を治むる者は国を治むる」ということが言われましたが、今もその価値に変わりはありません。たとえば豊かな町づくりのうちに産業の発展があります。

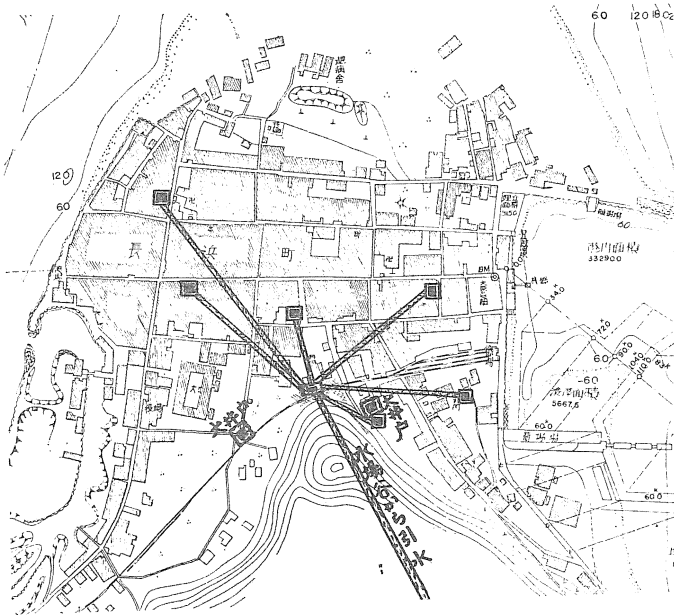
これをはかる上でも水は欠かせません。晴海団地に送っている工業用水は日量二千〜三千ト。水があればこそ昭和サボア工場も農協加工場も操業ができるのです。

このように水は豊かな町づくりのためにさらにますます重要性を増してくることでしょう。誰もがいつまでもきれいな水を手軽に利用できることを願って、この機会に私たちと水の関係をもう一度考えてみていただきたいのです。

水

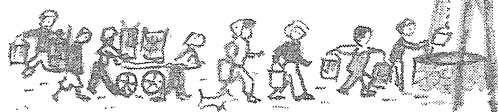


当時の旧長浜町と共同用水位置（上田高生さん説明による）



「長浜には嫁にやるな」ということがありまして、長浜へ行くとき水汲み、たきぎ取りをやらされるから一生苦労する。また「長浜へは別嬪はやるな」ということはもありました。当時の別嬪とは、か弱くて、きれいで、教養があつてというタイプですから、長浜へこのような別嬪をもらっても生活ができん、だから別嬪を嫁にもらおうと思つたら、水汲みなどせんでもよい中流以上の家庭でないと望めなかつたほど。

タゴに一千二銭で水汲みを商売にしている人もありました。当時、旧長浜町には真水のわく大井戸は長浜小学校の東と紺屋町にあつただけで他は塩分を含むものば



き、井戸に溜めてそれを汲み取つていたわけですが、水汲みをする姿は当時の長浜の生活の象徴のようでした。朝寝ぼうをするとき、日照りが続くとき、大雨が降るとダメ、そんなときは大井戸まで汲みに行かねばならない始末で、男も女も言うに言えない

「長浜にはヨメにやるな」

に朝は水汲み行列ができ朝寝ぼうさんほど苦労するといつたぐあひでした。私の家などは、朝寝ぼうといふわけではありませんが、朝は混雑するのを見越して夜に汲んでおりました



上田 高生 (76歳・長浜)

「にないオケ」といって、約四十リットル入るオケを前と後にてんびん棒でかついで運ぶわけですが、女性にとっては肩が痛くてやはり重労働でした。そして、どの

はいつも満員。時にはコレラ患者も出ることもあり、これらの治療に使う町費も相当なもの。そこでこの二つの問題を何とかせねばと名高い当時の西村町長のもとに綿密な研究と調査が重ねられ上水



上田 高生 (76歳・長浜)

い苦労あり。このようにして得た水ですから、今のようになんかに使うわけではなく、よく考えて使う習慣がおのずと身につけていきました。

今のように新しい水をまいたりすることは絶対になく、必ず二度三度使い古したものでした。洗たくも四、五日に一回、一週間に一回ということもあり、やはり今考えると不潔でしたね。おふろは銭湯がありましたが、少々塩分が含まれており、さっぱりしないばかりか今のようにふんだんに水が使えませんでした。

ほんとうに今は便利になりました。でも、やはり昔のくせが残り私はまき水などは使い古しを使いますが、やはり若い人には気づかなくなつたことのようにです。

こんなに便利になると、ふだんはなかなか水の大切さに気づきませんが、たまに断水などがあると不便であつた昔をなつかしんでいきます。

道の敷設に踏み切つたわけですが。「便利になつた」「濁り水が出ない」「生水を飲んでも心配ない」と町民の喜びはひとしおでしたが、一部には水道料のことで「水は天からタダで降るもの、金を取るとはこれいかに」という人もありました。ともかく西村町長は自然流下方式などを採用して少しでも安く配慮、ほとんどの人に不届はなく、専用栓で月一元五十銭共用栓で月六十銭（五人以下の家庭の場合）、営業用月約二円五十銭で配水を開始。ほんとうに便利に楽になりました。一方、それ以後というものの、伝染病の発生はめつたに見られなくなり、町民の健康保全、町財政に大きく影響をおよぼしたことは言うまでもありません。（当時、上水道工事）

◇ 上水道開設50周年記念・児童生徒作文 ◇

水を大切に使う



長浜小4年
大下 大樹

水にはいろいろな使い方があふ。飲み水、あらいけ、水まきなどぜいぶ水を使う。

水道の水は薬が入っていて消毒してあるのでお金がかかっているから大事に使わないといけない。ぼくの家といこの家では水の使い方がちがう。

いとこの家は、米のとぎじるや食器洗いに残った水などを花だんにかけるというのに、ぼくの家ではそんな水は下水道へジャーと流すだけだ。

今までのことを思いうかべるとずいぶんむだなことをした。この

みずをたいせつに



長浜小1年
かじもとまり

わたしが、あさ、はをみがくとき、みずをだしっぱなしにしていると、おかあさんがよこからさつときてみずをとめます。

また、ままごとでみずあそびをしたあと、おみずがぼとぼとおちていると「しっかりしめなさい」とおこります。

わたしは、がっこうのてあらいはへいくと、みずがでっぱなしになつていたので、とめます。みずがなくなつたらたいへんです。ごはんもたべられないし、おふろにもはいれないし、おせんた

ことを思い出すと、すぐお母さんに「これから、米のとぎじるや食器洗いの残った水は、はち植えにかけたら」と言った。そしたら「ごめん、これからやらい」とかんだんにはんせいもせず言った。ぼくははらがたつた。

水は水道代がいる。今まで水を大切にしようと思つたら大切にできたはずなのに。今からやってもらわなければならないので「米のとぎじる、食器洗いで残った水植物にかけてよ」と、また言つた。よく水道の水がポトリポトリとずくになつて落ちていくのを見かける。たとえしづくでも水がもつたいないので、ぼくはじゃ口をキューときつくしめる。そしたらしづくは落ちなくなる。

まだまだ、ぼくやぼくたちの家は水を大切にすることがたりないので、これからは氣をつけたい。

“水”



長浜小6年
西川 早苗

私たちは今、たくさん水を使つて生活している。でも、そんなにむだ使いをしてもいいのだから。

私たちの町は、まだたくさん水が出る。しかし、ほかの町では

出ないところがある。食器洗いのすすぎのとき、母は水を出しっぱなしにする。それをみて「なんとかならないかなあ」と思う。

水の出ない町にくらべ、私たちはほんとうにしあわせだと思ふ。

テレビのニュースなどでもよくあるが、水にはかぎりがある。水が出つきたときは、どうなるだろう。きつとみんな生きていけない。ごはんも食べられない。そんなときに人間はこう考えるだろう。「水をもつとたいせつに使用ばよかった」と。

でも、そんなことはないだろう。私にはわからない。そんなことがあつてもいい。そんなことになつたらたいへんだ。そんなことにならないには、第一に水のむだ使いをしないことだ。食器洗いのときもどうにかくふうしてみたいと思ふ。

水道



長浜小3年
塩原 健

いつだったか、水道工をするのだといつて水道の水が出なくなつた日がありました。てい電だつてあるんだから、水の出ないこともあると、ぼくは思いました。

おかあさんは、水が出なくなるといつて、いそいでせんとくをしたり、ごはんの用意をする水のくみおきをたくさんしました。おふろにもいっぱい水を入れました。でも、ぼくは水が出なくなつたとき、こんなことを思いました。

七月〇日 晴
午後五時十五分、本日の作業終了。

作業服を着替え、帰り仕度をしていくと、けたたましく電話のベルが鳴る。

「〇〇地区の道路で水が吹き出していますよ」

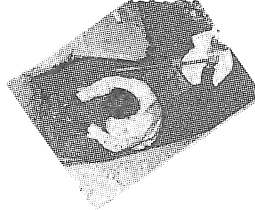
現場付近の人からの通報だ。電話の応答に課内に一瞬緊張した空気がみなぎる。

ただちに現場へ。調査の結果本管からの漏水だ。

午後十時断水、翌朝四時通水と決定。関係地区への広報、修理器材の準備などすべて完了。

午後八時作業開始。路面は踏み固められて石のように固い。作業衣も汗でグッショリ掘り進むうちに噴出する水量も多くなり、ポンプ一台では間に合わないほどだ。午後十時断水。水圧はしだいに下がってくる。完全に汲み出すのに約一時間かかる。破損か所が出てきた。予想した通り本管に大きな亀裂あり。

水道作業日誌から



修理開始。

全員の意気がピタリと合い、作業は流れるように進む。人影が近づいてくる。近所の店のご主人だ。(発電機の音が安眠を妨げたのだろう。申し訳ない！)

「大変ですな、夜中にご苦労さん。けがをしないように！」

暖かいいたわりのことばに新しい力がわいてくる。

午前二時、修理は終わった。みんなの顔に安堵の笑が浮ぶ。消火栓から排気、排泥をしながら徐々に制水弁を開けてゆく。

二時間が経過。壺神山の嶺線がほのかに見えてきた。

ほとばしる水はすっかり清くなり力強いおきが続けている。「水道は生きています」、この感じが今さらのように強く胸によみがえる。

路面のあとかたづけをして工事完了。早起きの家庭は炊事を始めるころだろう。

間に合つてよかった。帰りの車窓から吹き込む風が冷たく気持ちがいい。きょうも暑い日になりそうだ。

このまま水が出ないとすると、水ぶそくになって水のうばいあいの大げんかがはじまる。そして、さいごには人間は一人も生きのこらずに死んでしまう。地球の生きものはぜんぶ、しぜんのものになつてしまふだろう。電気がなくなつても地球の生きものはぜんぶしなないだろう。やっぱり電気より水のほうが大切だ、と思いました。ぼくの小さいころは、よく水を出してあそんでばかりいたそうです。おもちゃをかってもらつても水あそびはやめなかつたそうです。大きくなつても、よく水をつかってあそんでいました。

でも、夏休みに黒部ダムへつれていってもらつて、ダムをつつたときの大工事や、たくさんのお金がかつたことなどを聞いて、水をつくるのは大へんしごとだということをはじめてしりました。それからは水はむだにつかわないようにしています。



無我の音色に浸る池田さん（自宅で）
「尺八を習いたい方はいつでもどうぞ」ということです

木木ー！！

「竹のごとき心もて、仁、義、礼、智、信の五孔を堅くにぎりしめまごころをもって吹きつらぬくをいうなり」と書かれた掛け軸を説明しながら、「これが上田流尺八道の真髄です」

無我の音色すでに五百曲

尺八道 大師範

池田鳴鐘さん

（64歳）

鳴るといふものではなく、指使い息使い、あご使いの三つがうまく相まって初めてこなせる」。

「尺八は男らしい趣味だ、やってみたいか」と軍隊で台湾にいたころ上官にすすめられたのがきっかけだという。

尺八もまた真を極める道。

昭和七年十二月二十一歳のとき

が上田流尺八道の真髄です」

「真剣味をもつて吹奏するところに言い知れぬ陶醉の境をさまようような音色を誘い、無我の境にはいる神秘的でしかも男性的な魅力が」と池田鳴鐘（雅号）さんと池田正史さんは、すでに四十三年に上田流尺八道最高位「臥龍斎大師範」。

町内にこんな名人がいたのかとこの人に近づいてみて初めて思う鳴鐘大師範に吹奏された曲はも早五百曲以上という。さすがにその音色は片時も聞く人の心をそらせない。静かに深く、限らない心と情景を映し出し心にどこまでもしみ渡る。

「お琴や三弦のようににはじけば

から本格的に始め、いらい八年八月に初伝、九年三月に中伝、同年五月に奥伝を終了、さらに同年十一月に皆伝免許、十一月二月に指南免許、そして、十二年七月には準師範、十六年六月に師範へと昇進一途。その後戦争でしばし道を断たれたが、終戦とともに再びこの道を極め、ついに三十八年十月には大師範に至ったが、さらに道は極められ昭和四十三年六月、大師範中の大師範「臥龍斎大師範」に至ったその昇進には目を見張る。さすが大師範を築く過程は家族への影響も大きい。現在宇和町に住む長男の寿さん（二四）は池田寿山を名のる準師範、山梨県で大学校在学中である次男の正次さん（二二）は池田正山を名のる指南免許を持つ。また、東京に住む長女的美保さん（二六）は合奏に欠かせないお琴、さらに妻のオツギさん（五六）も三弦をたしなまれるという。正月など顔がそろえば三曲合奏（尺八、琴、三弦の合奏）が楽しめるそうであり、この日を楽しみにされている。

「多いときには二十人くらいの方が尺八を習いに通っていました。がなかなか続かず、今は一人も習う人はいません」ということでも伺えるように、町内には池田さんを除いては本格的に尺八をたしなむ人は見られないようである。

「根気がいりますからね」と語る池田さん。

尺八をやって一番うれしかったことは、昭和四十年に大阪で開かれた全国尺八技芸審査会で努力賞第一席になったこと。

今、池田さんの家庭はミカンの取り入れで忙しいが、尺八を愛し尺八に人生の喜びを見る池田鳴鐘大師範は暇さえあれば家庭においては尺八を手に部屋にももる。一方、各種催しへの応待にも忙しい。松山、高知、別府を中心に開かれる大きな演奏会でも池田大師範は常に首席に座を見る。

「主人の生きがいですから」と話す奥さんの表情にも、あの尺八の音色のように静かな限りない心の広がりを感じられる。

水道課長に真鍋

町職員一部異動

町では、この十一月一日付で若干の町職員の異動を行いました。異動の内容は次の通り。

商工課長であった二宮一雄を開発課主幹に、水道課長であった坂井弥八郎を商工課長に、水道課長補佐であった真鍋典秋を同課長に昇格、さらに同課主事であった大野智を同課長補佐に昇格。このほか開発課の久保田健市書記を文書広報課へ、商工課の城戸茂利書記補を住民課へ配置しました。よろしく願います。



真鍋水道課長

表彰***

生田俊道さん

樹生の生田俊道さん（五七）は長年にわたり里子の養育にあたり里親として功績があったことにより、さる十月二十七日、八の両日、松山市民会館で開かれた愛媛県社会福祉大会の席上、愛媛県知事から

表彰されました。

小西豊己さん

豊茂の小西豊己さん（七七・豊茂公民館長）は、へき地教育の振興に功労があったことにより、さる十月十四日に今治市美須賀小学校で開かれた愛媛県へき地教育研究大会の席上、愛媛県へき地教育振興会長から感謝状を受けました。

戒川明治青年会

戒川老人クラブ明治青年会は、年間事業などが計画的に実施されているほか、とくに環境美化活動や定期的墓参などを積極的に行うなど、その活動ぶりは他の模範であることにより、さる十月三十日、松山市民会館で開かれた愛媛県老人クラブ大会の席上、愛媛県老人クラブ連合会長から表彰されました。

武智ヘルパー

社会福祉協議会の武智久子ホームヘルパー（五七・長浜）は、長年ホームヘルパーとしての職務に動めた功績により、さる十月二十七日、八の両日、松山市民会館で開かれた愛媛県社会福祉大会の席上、愛媛県社会福祉協議会長から感謝状を受けました。

宇都宮寛さん

町役場住民係長であった宇都宮寛さんは、戸籍事務に永年勤続、功労があったことにより、さる十月二十九日に東京都世田谷区民会館で開かれた全国連合戸籍事務協議会総会の席上、同会長から表彰されました。

町内車輛所有状況 (50.11.1現在)

四輪車
1.4世帯に1台
5.1人に1台

二輪車
3.4世帯に1台
11.8人に1台





「今年も暮れる」この実感が最近
は非常に薄れてきたのではなから
うか。昔は経済生活においても盆
暮れの二大節期にめくくりがつ
けられ、とくに暮は大節期として
除夜の鐘が鳴り始めるまでに総決
算、借錢なしの年越しをすること
が上上吉のおらが春を迎えること
であった▲日本人の経済は四季
の変化がはげしくかつ明瞭であつた
がために発達したといわれる。着
物一つをとっても年中裸で暮らす
南洋の土人たちには作ることがな
い。四季折々に温度の変化の著し
いわが国では夏着冬着合着、それ
に仕事着普段着よそ行き礼服と重
なれば一人で何十種類の衣類を
整えねばならぬ。それはすべて生
産によってまかなわねばならぬ▲
夏は冷しそうめんに冷ヤッコ、冬
は温かい雑炊や鍋物、それに四季
折々の変化に富んだ野菜山菜鳥獣
魚介類が食膳を賑わす。自然がか
くのごとくであるから民情風俗単
調に陥るわけがない▲それが近ご
ろどうも怪しくなってきたふし
がある。格別苦にならない大晦日、
年中変わり映えのしないインスタ
ント食品、冷暖房完備で一着の着
物でも格別不自由は感じなくなる。
養殖だビニールハウスだと何
がどの季節の食べ物やらわからぬ
子供や若者も多くなったのではな
からうか。せめて暮と正月、日本
民族の発展起原として、それらし
く暮らしてみようではないか。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。



	11月1日現在	前月との比較
人口	13,800人 (男 6,539人 女 7,261人)	12人減 (5人減 7人減)
世帯数	3,934世帯	増減なし

◇十二月は年末調整
の月です。サラリーマン
にとっては年末調整で税
金がかかるか追徴されるか
最も関心のあるところで
す。簡易保険など生命保
険に加入されている方は、
生命保険料控除の申告書
をお出しください。
申告をされずと、そ
の一年間の所得から支払
った年間保険料によって
最高五万円までが控除さ
れます。この場合一つの
契約で年間払込保険料が
九千円を超えるものにつ
いては「保険料払込証明書」を添付する
ことになっています。この証明
書の発行は、簡易保険の場合受

生命保険料控除の申告をしよう

ありがとうございました
○長浜町観光協会：「海水浴場施
設に：」と現金二十五万円を町
へ
○東京都の中野七郎さん（黒田出
身）：「中央公民館備品に：」
と大鏡一面を町へ

持郵便局の窓口かセールスマンに
お申し出ください。
十二月はお忘れなく生命保険料
控除の申告をしましょう。
(伊予長浜郵便局)
ディस्कジョッキーが
最優秀賞
昭和五十年年度愛媛県有線放送番
組コンクールで長浜町有線放送の
番組「有線ディस्कジョッキーお
耳拝借(九月二十七日放送分)」が
企画部門で最優秀賞に選ばれ、
県代表として全国コンクールに参
加することになりました。



結婚

10月長浜町役場届出分(敬称略)



今月のトップは
村上亀・中村孝子さんのカップル

お誕生おめでとう!!

10月届出分(敬称略)
住所氏名 婚姻届時年齢
仁所 保護者氏名 続柄 児名
長久 郷内 啓司 長男 啓治
長浜 田淵 類彦 二男 知昭
長浜 米田 敏昭 長男 昌弘
黒田 大野 泰俊 長女 陽子
黒田 田淵 孝 長女 千鶴
黒田 二神 孝 三女 智子
出所 山本 憲一 三男 智央
下須戒 小西 憲一 長女 智也
松野 末章 三男 智也
笑子

おくやみ

10月届出分(敬称略)
住所氏名 死亡時年齢
長浜 玉井 音五郎 (六九)
長浜 大山 サカエ (八一)
長浜 片岡 一雄 (八一)
長浜 稲田 武雄 (五八)
青島 梶本 政治郎 (六五)
沖浦 宮川 春子 (七三)
柳生 西尾 義ノ (七〇)
柳生 山路 義夫 (七六)
出所 木村 元道 (一三)
上老松 上田 吉広 (一四)
豊茂 松田 嘉頭男 (七二)
白滝 岩竹 ヲミチ (七二)
白滝 松岡 伊一郎 (八二)
柴 泉 平次郎 (七七)

編集後記

ことしもいよいよ最後の月。
十二月のこよみをみますと、神
事、仏事、農事について、日ごと
に「納めの：」になにといった
文字が目立ちます。これはくらし
の上で一年のけじめをつけてきた
先祖のいとなみだったことしる
しです。
官庁のご用納めも通例では二十
八日、私たちの生活感覚からはや
はり一年のしめくり。
さて、ことし最後の本紙、読ん
でいただきましたか。最後あれば
最初あり、次号は明けて五十一年
一月号。「よい年でありますよう
に」と心新たに祈る心は共通の
ものといえるでしょう。そして「今
年こそは」との豊富も。次号では
「私の76年」と題して幾人かの方
に新春の心意気を伺い紹介して参
りたいと思います。どうかよいお
年を。